

## 第2 東公園動物園管理運営事業

### 1 動物園管理運営業務

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、感染防止対策を講じたうえで、各イベントを再開した。入園者数は、前年度比で102%となり、コロナ禍前と同程度に回復した。

新型コロナウイルスの流行期で来園を控えている方にも動物園を楽しんでもらえるようにSNSによる情報発信に力を入れ、InstagramとYouTubeの配信を継続している。感染症対策が難しいイベントについては動画配信に変更して積極的に配信した。

5月19日、24年ぶりにミニチュアホースの赤ちゃんが誕生した。ルリコンゴウインコを購入するとともに、他の動物園から受け入れたクジャク、モルモット、オキナインコが新しく仲間入りした。

また、オリジナルグッズの作成・販売を行い、好評を博している。

#### (1) 飼育動物点数（令和5年3月31日現在）※魚類含まず。

29種172点（哺乳類：14種129点 鳥類：12種39点 爬虫類：3種4点）

#### (2) 入園者数など（単位：人）

動物園の入園者数	271,140
うち遠足利用	2,906

#### (3) スポットガイド、お食事タイム

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

#### (4) ふれあい事業（単位：人）

モルモット		ヒツジ ヤギ	リクガメ	ウサギ	ウマ			参加人数 合計
一般	団体				乗馬	ふれあい	散歩	
—	—	—	—	44	—	—	—	44
—		—	—	—	—			

#### (5) 餌やり体験（単位：皿）

ゾウ	シカ	水鳥	サル	ラマ	合計
9,895	20,971	—	2,625	—	33,491

#### (6) 職場体験の受け入れ

中学校	6校	19人
高校・専門学校・大学	4校	4人
合計	10校	23人

#### (7) 出前講座

モルモットのふれあい	12月8日 宮崎小学校	8人
職業についてレクチャー	6月17日 六ッ美北中学校	38人
	7月15日 北中学校	72人
キャリアアップ講師	12月16日 新香山中学校	23人
合計		103人

## (8) ワークショップ

クジャクの羽根で作ろう	6月12日	5組18人
エッグアート	11月6日	5組16人
ゾウさんのうんちで紙作り	3月5日	4組9人

## (9) イベント

どうぶつ絵本の読み聞かせ	4月、5月、9月、10月、11月、 3月 第2水曜日	中止
ゾウのふじ子のお誕生日会	4月9日、10日	
動物園写生会	4月29日～5月5日	78人
みんなの動物園	4月29日～5月5日	
ヒツジの毛刈り	5月5日	動画配信
インスタライブ	6月4日	動画配信
くらべてみよう！いろいろな毛編	6月26日	8人
インコ・オウムを知ろう	7月17日	15人
写生会作品展	7月20日～24日	
どうぶつえんうらがわ探検	7月23日、24日、30日、31日、8 月6日、7日、13日、14日、20日、 21日、27日、28日	123人
出張水族館 (竹島水族館が来園)	8月6日、7日	592人
出張水族館 (碧南海浜水族館が来園)	8月21日	585人
どうぶつとなかよくなるろう 「カピバラ編」	9月4日	10人
どうぶつとなかよくなるろう 「リスザル編」	9月17日	10人
どうぶつえんクイズラリー	9月24日、25日	100人
出張動物園 (竹島水族館へ行く)	10月1日、2日	817人
フォトコンテスト作品募集	10月1日～31日	31点
環境ラベルしらべ	10月2日	7人
出張動物園 (碧南海浜水族館へ行く)	10月23日	517人
あにまねウォッチ	10月29日、30日	31人
どうぶつとなかよくなるろう 「ニホンザル編」	11月13日	8人
親子で飼育体験	11月20日	11人
フォトコンテスト作品展	12月1日～28日	
ウンが付くしおり配布	12月8日	
ハッピークリスマスプレゼント	12月10日、11日	100人
ニホンザルとクリスマス	12月25日	
新年を祝う会	1月3日	動画配信
くらべてみよう！いろいろな口編	1月15日	8人
くらべてみよう！いろいろな動物の足 編	2月19日	10人
外来種問題について学ぼう	2月26日	13人
ゾウさんのうんちで紙作り	3月5日	9人
なかよし教室 (動物1係と協働開催)	4月～2月 (全53回)	市内公立 こども園・保育園37園

## 2 動物園動物診療業務

動物園動物の健康管理・疾病治療を家畜診療業務も含め4人の獣医師で行っている。

診療業務には多くの知識と経験が必要であるため、他の園館の獣医師と症例に関する情報交換を行い、場合によっては直接指導者を招き、治療を行っている。センター内の整備された設備・機器等を活用し、迅速な治療方針の検討を実施している。また、ふれあい動物に対しては定期的な糞便検査や年間を通した駆虫プログラム等により、動物由来感染症に一層注意を払っている。その他、各種疾病予防ワクチンの接種や死亡動物の検案も行っている。

### 検査・予防・治療・検案

		対象疾病及び手段	対象動物	結果
糞便検査	寄生虫（虫卵検査）	線虫・吸虫・鞭虫	導入動物、ふれあい動物、エサやり動物	陰性
	細菌検査	サルモネラ・0-157・カンピロバクター		陰性
予防	予防接種	馬インフルエンザ・日本脳炎・破傷風	馬	延べ16頭
	駆虫	3か月毎イベルメクチン製剤投与（馬はイベルメクチン・プラジクアンテル合剤と交互に使用）	馬 モルモット・ヤギ・ヒツジ	年2回 春～秋月1回
治療			罹患動物	延べ1108回
検案		肉眼所見（一部細菌検査）	死亡動物全個体	19件